

■ 未来技術で創り出される「100年後」をテーマに ■ 演劇研究部「学窓座」が万博会場で上演 【日時】6月8日(日)11:00～ 【場所】大阪ヘルスケアパビリオン

関西大学文化会演劇研究部学窓座は、6月8日(日)11:00から、大阪・関西万博の大阪ヘルスケアパビリオン屋外リボーンステージに登場。「100年後の未来」をテーマにしたオリジナル短編演劇4作品を上演します。

本件の ポイント

- ・ 関西大学文化会演劇研究部学窓座が、6月8日(日)に大阪・関西万博でオリジナル短編劇4本を披露
- ・ 大阪ヘルスケアパビリオンの屋外ステージで「100年後の未来」をテーマに上演
- ・ 企業や研究者の助言を受け、未来技術を取り込んだ学生オリジナル台本を作成

関西大学は8月5日(火)～11日(月)に大阪ヘルスケアパビリオン「関西大学リボーンチャレンジ」で企画展示を行います。ここで関大の研究者と企業が協力して展示する「未来の技術」をわかりやすく伝えるために演劇公演が企画されました。学窓座の学生たちが脚本に取り込んだのは「環境負荷に耐える電池」、「未来の細菌対処法」、「冷凍保存の新技术」、「宗教上の制約に対応する食品」の4分野。学生たちは試行錯誤しながら、企業や研究者の助言を受けて、4本のオリジナル台本を生み出しました。出演者を決めるオーディションには他大学の学生も加わり、作品ごとに4チームが結成されました。「100年後の未来」をどう演劇で表現できるのか。万博会場の屋外ステージというこれまでにない大舞台を想定しながら、日々練習に励んでいます。



< 学内でのプレ公演の様子 >



< 万博会場における上演に向けての稽古が続く >

■ プロジェクトに参加した、演劇研究部学窓座 西村 和祥部長 (システム工学部3年次生) のコメント

「演劇研究部に万博への出番があることに大変驚きましたが、これは学窓座として活動の幅を広げるチャンスだと思いました。言葉や文字で説明することが難しくても、全身を使って表現できるのが演劇のいいところです。自分たちのオリジナルで『100年後の未来』を表現できることに対して、わくわくしながら取り組んでいます。」

< 演劇研究部学窓座による公演「100年後の未来」の概要 >

【日時】 6月8日(日) 11:00～12:30

【場所】 大阪・関西万博 大阪ヘルスケアパビリオン 屋外リボーンステージ

【関連URL】 KANDAI HEADLINES https://www.kansai-u.ac.jp/headlines/entry/post_83233.php

この件に関するお問い合わせ先 (稽古の様子取材なども可能です)

関西大学 総合企画室 広報課 担当: 伊地知、小林、明原

〒564-8680 大阪府吹田市山手町 3-3-35 Tel.06-6368-1937 Fax.06-6368-1266